

『学びがつながる幼小連携を目指して』

隣接の小学校との相互理解を深める研究推進の取組例

～花巻市立花巻幼稚園～

◎…主に園児・児童の活動や交流

○…主に職員の指導や交流

●…主に保護者への働きかけ

☆ 一年間の流れ ☆

月	行事・交流事業他
4	
5	* 年度初拡大推進委員会◎ …◆校長、園長、副校長、副園長、各教務主任の6人による小学校との交流(年長組と1年生)の年間計画打合せ
6	* 花小運動会総練習見学◎ * 第1回交流授業 事前打合せ○ …◇園の教務主任と1年生、年長組の担任の5人
7	* 第1回交流授業 ◎○ * 花小プール借用(9月迄)◎ * 第1回花小授業参観 ○ …園の教務主任と年長組の担任、サポートが参観
8	* 第1回交流授業 事後反省会(◇)○ * 第1回幼稚園保育参観○ …花小1年担任来園
9	* 第2回交流授業 事前打合せ(◇)○ * 花巻祭ばやし披露見学◎ * 第2回交流授業 ◎○ * 拡大園内研・公開研究○ …市内の公立保育園、幼稚園、保幼小連携研究班関係校、花小の先生方、園に来園
10	* 第2回交流授業 事後反省会(◇)○ * 花小学習発表会 リハーサル見学◎
11	* 花小公開研究会参加 ○
12	* 花小給食参観 ○
1	* 各小学校との引き継ぎ○ * 幼稚園給食参観 ○ * 第3回交流授業 事前打合せ(◇)○
2	* 第3回交流授業 ◎○ * 第2回花小授業参観 ○ * 第2回幼稚園保育参観○
3	* 第3回交流授業 事後反省会(◇)○ * 年度末拡大推進委員会○ …◆来年度の方向性を話し合う

下線ありは、小学校行事
下線なしは、保育園・幼稚園
行事又は、双方に関わるもの。

☆ 具体的事例 ☆

* 年度初拡大推進委員会 ～5月初旬～ ○

花巻小学校との連携は今年度で14年目を迎える。今年度は人事異動の関係もあり、◆のメンバー以外に1年生と年長組担任も入り、計10人での会議となった。昨年度の反省を受けて、今年度一年間の交流・連携についての概要を打ち合わせた。



今年度の幼小相互理解の視点は、幼稚園の園内研究主題でもある「聞く力・話す力」とし、保幼小接続期のカリキュラムの『人とのかかわり』30、31番、56番を中心に合同指導案を練ること、事後反省会においてもこの点について評価し、互いの教育課程を理解し合い、連携し合うこと等が出された。

交流の目的	《幼稚園》	《小学校》
	交流を通して、小学生とのかかわりを喜び、小学校への期待を膨らませる。	交流を通して、幼稚園児をリードすることを喜び、他への思いやりの気持ちを深める。

* 第2回交流授業打合せ ～8月～ ○

幼稚園の教育課程において、この時期に育てたい姿は「4～5人の小グループの中で自分の思いや考えを相手に伝えようとする」である。そこで、『グループ』での話し合いはどうかと提案した。しかし、幼稚園と小学生のペアやグループを考えた時、慣れ親しんでいる関係ではないこと、また、小学校ではこの時期、教師との関係、友達と2人での関係の中で授業が進められていること、更に、より自分の思いを出せるような場を考え、『グループ』ではなく、『ペア』での話し合いを大事にしようという打合せがなされた。

今回のねらい	《幼稚園》	《小学校》
	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループの友達とのつながりを深めながら、充実感を味わう。 自分の思いや考えを伝えあい、互いのよさを感じながら遊びを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアの子に親しみを抱き、リーダーシップを発揮して、園児をお世話しようとする気持ちをもつ。
目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ペアの友達に親しみをもちてかかわる。 ペアの友達の話をよく聞き、一緒に考えたり相談したりする楽しさを味わう。 ペアの友達と一緒に走ったり、グループの友達を応援したりして、楽しさを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアの子に話しかけ、やり方を教えたりする等、リーダーシップを取ろうとする。 自分のグループの友達を応援しようとする。 相手に分るようにはっきり話す

* 第2回交流授業 ～9月～ ◎○

《ペアの友達から学ぶ》…紙テープリレーでの話し合い(作戦タイム)

一年生「コーナーがうまく走れないよ」「Mちゃん、コーナーを回る時、思いっきり走ってみて」…走るのが苦手なMであったが、とても真剣な表情で頷きながら聞いていた。作戦タイム後の走りがとても変わり、懸命に走っていたことから、小学生の期待に応えようとする姿と捉えた。

* 翌日のクラス対抗リレー

《交流で学んだことを生かす》…チーム毎の作戦タイム

これまでの作戦タイムと違って、「バトンの持ち方、渡し方」「手の振り方」等を相手に分るように言葉を選んだり、身振り手振りで伝えようしたり、相手の話をよく聞く、準備体操を始める等、意欲的な姿がたくさん見られた。

* 第2回交流授業事後反省会 ○

《それぞれの子どもの姿を伝え合い、指導を振り返る(評価)》

交流授業以後の互いの子どもたちの姿から、『教師間で内面を読み取り、発達を理解しながら連携していく』『その時期の子どもの育ちを見取る視点を明確にし、環境の工夫や指導のポイントを探る』重要性を確認できた。